

資料-1

水道・交通委員会資料
平成 22 年 6 月 18 日
水 道 局

横浜ウォーター株式会社について

1 設立目的

本市水道事業の将来に向けた経営基盤強化のため、長い歴史の中で培ってきた水道局の技術力・ノウハウ等を活用し、ビジネス展開を図る新会社「横浜ウォーター株式会社」を設立します。

これにより、国内外の水道事業の課題解決に貢献するとともに、新たな収益を確保し、お客さまに還元しつつ、横浜市水道局の経営基盤の強化を図ります。

2 会社概要

名 称	横浜ウォーター株式会社
所在地	横浜市中区
資本金(出資割合)	1 億円 (水道局 100%出資)
役員数	取締役：3～7 名程度 (代表取締役を含む) 監査役：1 名以上
職員数	20 名程度
主な事業 (※具体的事業は次の「事業内容」とおり。)	1 水道施設及びそれらに付随する施設の管理及び運営 2 水道施設及びそれらに付随する施設の設計、施工及び監理 3 水道施設及びそれらに付随する施設の調査及び診断 4 水道に関するコンサルティング、各種講習及び知識の普及啓発 5 水道に関する調査、研究及び開発 6 前各号に付帯関連する業務

※設立時期：7 月 1 日 (予定) 営業開始：7 月中旬

社長の決定及び就任：6 月下旬に決定し会社設立時に就任

3 事業内容

項 目	事業の概要	顧 客
①施設の整備及び維持管理	浄水場等の運転管理、給水装置工事の設計審査・完了検査、水道管の漏水調査・緊急修繕対応	国内水道事業者
②研修事業	水道技術や事業経営に関するノウハウ等の研修・講座	水道事業者 民間企業
③国際関連事業	JICA 等援助機関からの調査案件、研修生受入事業等 (将来的には海外事業者へのコンサル、海外展開を目指す日本企業へのアドバイザー契約等も検討)	JICA 等援助機関



「横浜ウォーター株式会社」の事業展開



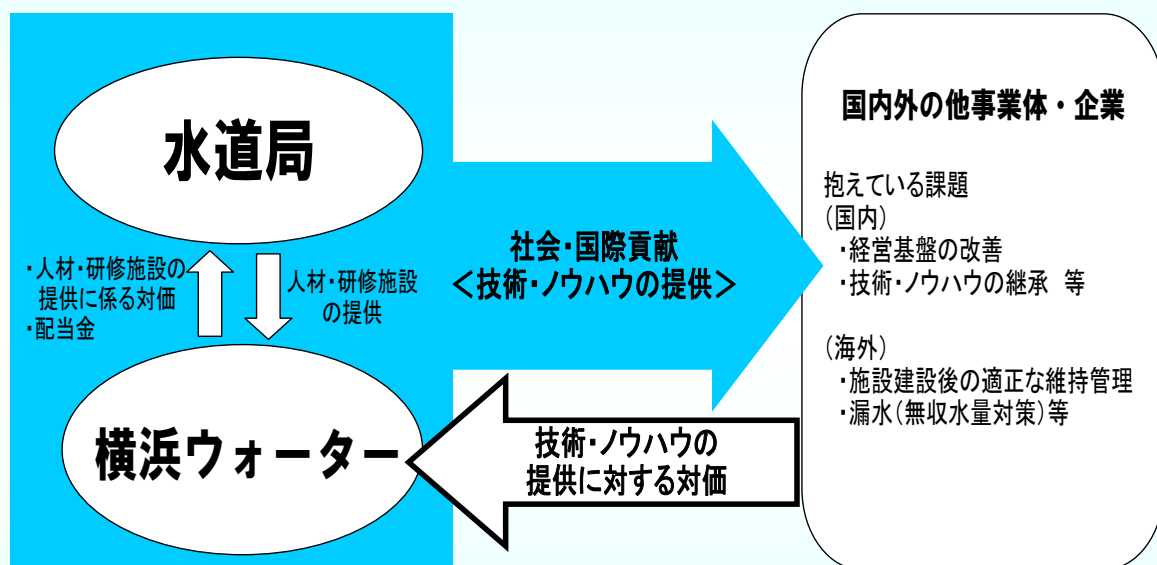
技術・ノウハウを活用し国内外の課題解決に貢献します

【設立目的】

本市水道事業の将来に向けた経営基盤強化のため、長い歴史の中で培ってきた水道局の技術力・ノウハウ等を活用し、ビジネス展開を図る新会社「横浜ウォーター株式会社」を設立します。

これにより、国内外の水道事業の課題解決に貢献するとともに、新たな収益を確保し、お客さまに還元しつつ、横浜市水道局の経営基盤の強化を図ります。

《ビジネス展開の仕組み》



【事業内容】

項目	事業の概要	顧客
①施設の整備及び維持管理	浄水場等の運転管理、給水装置工事の設計審査・完了検査、水道管の漏水調査・緊急修繕対応	水道事業体
②研修事業	水道技術や事業経営に関するノウハウ等の研修・講座	水道事業体 民間企業
③国際関連事業	JICA等援助機関からの調査案件、研修生受入事業等（将来的には海外事業体へのコンサル、海外展開を目指す日本企業へのアドバイザー契約等も検討）	JICA等援助機関

主な事業のご紹介

■浄水場等の運転管理

熟練の技術者が浄水場等の施設の運転監視のほか、お客さまの使用実態に合わせた効率的な水運用（送・配水）を行います。

施設の維持管理では、浄水施設や電気・機械設備等の保守管理、水質管理を行い、安全で安定した水道水の供給を実現します。



■給水装置工事の設計審査・完了検査



お客さまが所有する給水装置の新設・改良工事にかかる設計審査、完了検査業務を実施します。



■研修事業

国内外の水道事業者や民間企業を対象に、水運用や漏水探知、送配水管の更新計画などの水道技術に関する研修について実技指導を行います。

水道概論研修では浄水場等の施設見学を交え、水道事業全般についての研修を実施します。



西谷管路研修施設



音聴棒による漏水音の捕捉技術の修得



■国際関連事業



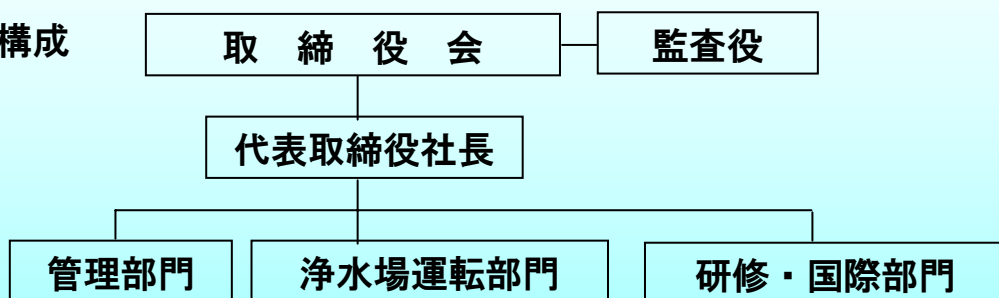
水飲み場で蛇口から直接水を飲む市民
(ベトナム フェにて)

横浜市が保有する高い技術力及びノウハウを海外からの研修生に提供すると共に、民間企業と連携し、海外における企業活動の進展に寄与します。

会社概要

社名	横浜ウォーター株式会社
設立	平成22年7月（予定）
所在地	横浜市中区
組織形態	株式会社
資本金 （出資割合）	1億円（水道局100%出資）
主な事業	<ol style="list-style-type: none">1 水道施設及びそれらに付随する施設の管理及び運営2 水道施設及びそれらに付随する施設の設計、施工及び監理3 水道施設及びそれらに付随する施設の調査及び診断4 水道に関するコンサルティング、各種講習及び知識の普及啓発5 水道に関する調査、研究及び開発6 前各号に付帯関連する業務

機関構成



お問合せ先
横浜市水道局事業開発課
TEL：045-671-3063



平成22年度 研修実施概要(予定)

(あくまで現時点での予定であり、今後変更の可能性あります。)

研修名	研修日程	研修内容
① 水運用研修 技術系初級職員を対象	全4日間 ①平成22年 8月上旬 ②平成23年 1月下旬	水運用に関する講義および実技を行います。
② 漏水調査及び修繕研修 技術系初級職員を対象	全3日間 ①平成22年 8月下旬 ②平成23年 2月上旬	漏水調査及び漏水修繕に関する講義および実技を行います。
③ 配水管技術研修 技術系初級職員を対象	全4日間 ①平成22年 8月下旬 ②平成23年 2月中旬	配水管技術に関する講義および実技を行います。
④ 給水装置研修 技術系初級職員を対象	全3日間 ①平成22年 8月下旬 ②平成23年 3月上旬	給水装置に関する講義および実技を行います。
⑤ 水処理研修 技術系初級職員を対象	全4日間 ①平成22年10月上旬 ②平成22年12月上旬	水処理に関する講義および実技を行います。
⑥ 水道概論研修 水道関係初級職員を対象	全4日間 ①平成22年 9月上旬 ②平成22年11月上旬	水道概論に関する講義および浄水場等の施設見学を行います。
⑦ 設計コンサルタント育成研修 横浜市入札参加資格者及び資格取得予定者等を対象	全5日間 ①平成22年 9月上旬 ②平成23年 1月下旬	設計コンサルタント育成のための講義および実技を行います。